

令和5年度
琴浦町河川水水質検査委託業務

水質分析結果報告書

令和5年6月

株式会社エスジーズ

計 量 証 明 書



計量証明書

No. TW230049-007

令和5年5月22日発行

琴浦町役場 町民生活課 様

計量証明事業登録
鳥取県知事認可第78号
株式会社エスジーズ鳥取支店
〒689-1112
鳥取県鳥取市若葉台南1丁目11番
TEL 0857-38-6111

計量管理者 澤田 正樹
登録番号 第6937号



試料の種類	河川水	採取者	株式会社エスジーズ			
採取場所	瀬戸川 宅前	天候	晴			
採取日時	令和5年5月10日	11:18	気温	23.7℃	水温	16.7℃

上記試料に対する分析結果を下記のとおり証明します。

記

計量の対象	計量の結果	計量の方法
水素イオン濃度 (pH)	7.1	JIS K 0102 12.1
溶存酸素量 (DO)	9.5 mg/L	JIS K 0102 32.1
生物化学的酸素要求量 (BOD)	<0.5 mg/L	JIS K 0102 21. 及び32. 3
化学的酸素要求量 (CODMn)	1.5 mg/L	JIS K 0102 17.
浮遊物質 (SS)	2 mg/L	環境庁告示第59号付表9
*大腸菌数	54 CFU/100mL	環境庁告示第59号付表10
	以下余白	
*印 計量証明対象外		



計量証明書

No. TW230049-010

令和5年5月22日発行

琴浦町役場 町民生活課 様

計量証明事業登録
鳥取県知事認可第78号
株式会社エスジーズ鳥取支店
〒689-1112
鳥取県鳥取市若葉台南1丁目11番
TEL 0857-38-6111

計量管理者 澤田 正樹
登録番号 第6937号



試料の種類	河川水		採取者	株式会社エスジーズ		
採取場所	洗川 洗川橋		天候	晴		
採取日時	令和5年5月10日	10:43	気温	18.9℃	水温	16.0℃

上記試料に対する分析結果を下記のとおり証明します。

記

計量の対象	計量の結果		計量の方法
水素イオン濃度 (pH)	7.3		JIS K 0102 12.1
溶存酸素量 (DO)	10	mg/L	JIS K 0102 32.1
生物化学的酸素要求量 (BOD)	0.5	mg/L	JIS K 0102 21. 及び32. 3
化学的酸素要求量 (CODMn)	2.2	mg/L	JIS K 0102 17.
浮遊物質 (SS)	2	mg/L	環境庁告示第59号付表9
*大腸菌数	140	CFU/100mL	環境庁告示第59号付表10
	以下余白		
*印 計量証明対象外			



計量証明書

No. TW230049-013

令和5年5月22日発行

琴浦町役場 町民生活課 様

計量証明事業登録
鳥取県知事認可第78号
株式会社エスジーズ鳥取支店
〒689-1112
鳥取県鳥取市若葉台南1丁目11番
TEL 0857-38-6111

計量管理者 澤田 正樹
登録番号 第6937号



試料の種類	河川水	採取者	株式会社エスジーズ			
採取場所	馬込川 馬込橋	天候	晴			
採取日時	令和5年5月10日	10:35	気温	20.6℃	水温	16.4℃

上記試料に対する分析結果を下記のとおり証明します。

記

計量の対象	計量の結果	計量の方法
水素イオン濃度 (pH)	7.2	JIS K 0102 12.1
溶存酸素量 (DO)	10 mg/L	JIS K 0102 32.1
生物化学的酸素要求量 (BOD)	0.5 mg/L	JIS K 0102 21. 及び32.3
化学的酸素要求量 (CODMn)	1.6 mg/L	JIS K 0102 17.
浮遊物質 (SS)	2 mg/L	環境庁告示第59号付表9
*大腸菌数	70 CFU/100mL	環境庁告示第59号付表10
	以下余白	
*印 計量証明対象外		



計量証明書

No. TW230049-014

令和5年5月22日発行

琴浦町役場 町民生活課 様

計量証明事業登録
鳥取県知事認可第78号
株式会社エスジーズ鳥取支店
〒689-1112
鳥取県鳥取市若葉台南1丁目11番
TEL 0857-38-6111

計量管理者 澤田 正樹
登録番号 第6937号



試料の種類	河川水		採取者	株式会社エスジーズ		
採取場所	御幸川 御幸橋		天候	晴		
採取日時	令和5年5月10日	10:25	気温	22.7℃	水温	15.2℃

上記試料に対する分析結果を下記のとおり証明します。

記

計量の対象	計量の結果	計量の方法
水素イオン濃度 (pH)	7.5	JIS K 0102 12.1
溶存酸素量 (DO)	10 mg/L	JIS K 0102 32.1
生物化学的酸素要求量 (BOD)	<0.5 mg/L	JIS K 0102 21.及び32.3
化学的酸素要求量 (CODMn)	2.1 mg/L	JIS K 0102 17.
浮遊物質 (SS)	4 mg/L	環境庁告示第59号付表9
*大腸菌数	72 CFU/100mL	環境庁告示第59号付表10
	以下余白	
*印 計量証明対象外		





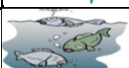

河川調査分析結果の評価

河川調査分析結果の評価

調査位置 ①黒川 堅忍橋

調査日時 令和5年5月10日 12:18 天候 晴

分析の結果は、下表の着色部 に相当します。

類型	利用目的の適応性		河川環境基準値					参考
			水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD)	浮遊物質量 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌数	化学的酸素要求量 (COD)
分析結果			7.4	<0.5	12	10	58	2.6
AA	水道1級、自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	1mg/L 以下	25 mg/L 以下	7.5 mg/L 以上	20CFU/ 100mL以下	基準値 設定なし
A	水道2級、水産1級、水浴及びB以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	2mg/L 以下	25 mg/L 以下	7.5 mg/L 以上	300CFU/ 100mL以下	
B	水道3級、水産2級及びC以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	3mg/L 以下	25 mg/L 以下	5 mg/L 以上	1,000CFU/ 100mL以下	
C	水産3級、工業用水1級及びD以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	5mg/L 以下	50 mg/L 以下	5 mg/L 以上	基準なし	
D	工業用水2級、農業用水及びEの欄に掲げるもの		6.0以上 8.5以下	8mg/L 以下	100 mg/L 以下	2 mg/L 以上		
E	工業用水3級、環境保全		6.0以上 8.5以下	10 mg/L 以下	ごみ等の浮遊が認められないこと	2 mg/L 以上		
基準外								

備考 (当該河川は環境基準の類型指定はありませんが、参考にあてはめました。)

1 基準値は日間平均値とする(湖沼、海域もこれに準ずる。)

2 農業用利水点については、水素イオン濃度6.0以上7.5以下、溶存酸素量5mg/L以上とする。

(注)1 自然環境保全: 自然探勝等の環境保全

2 水道1級: ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの

水道2級: 沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの

水道3級: 前処理を伴う高度の浄水操作を行うもの

3 水産1級: ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用

水産2級: サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産3級の水産生物用

水産3級: コイ、フナ等β-中腐水性水域の水産生物用

4 工業用水1級: 沈殿等による通常の浄水操作を行うもの

工業用水2級: 薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの

工業用水3級: 特殊の浄水操作を行うもの

5 環境保全: 国民の日常生活(沿岸の遊歩等を含む。)において不快感を生じない限度

総合評価

当該河川は環境基準の類型指定はありませんが、参考としてA類型の基準に当てはまります。

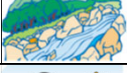





当該河川の水質は、魚などの生息・農業用水としての利用について問題ありません。

河川調査分析結果の評価

調査位置 ②勝田川 持久橋

調査日時 令和5年5月10日 12:06 天候 晴

分析の結果は、下表の着色部 に相当します。

類型	利用目的の適応性	河川環境基準値	河川環境基準値					参考
			水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD)	浮遊物質量 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌数	化学的酸素要求量 (COD)
分析結果			7.3	<0.5	2	10	22	1.7
AA	水道1級、自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	1mg/L 以下	25 mg/L 以下	7.5 mg/L 以上	20CFU/ 100mL以下	基準値 設定なし
A	水道2級、水産1級、水浴及びB以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	2mg/L 以下	25 mg/L 以下	7.5 mg/L 以上	300CFU/ 100mL以下	
B	水道3級、水産2級及びC以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	3mg/L 以下	25 mg/L 以下	5 mg/L 以上	1,000CFU/ 100mL以下	
C	水産3級、工業用水1級及びD以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	5mg/L 以下	50 mg/L 以下	5 mg/L 以上	基準なし	
D	工業用水2級、農業用水及びE以下の欄に掲げるもの		6.0以上 8.5以下	8mg/L 以下	100 mg/L 以下	2 mg/L 以上		
E	工業用水3級、環境保全		6.0以上 8.5以下	10 mg/L 以下	ごみ等の浮遊が認められないこと	2 mg/L 以上		
基準外								

備考 (当該河川は環境基準の類型指定はありませんが、参考にあてはめました。)

- 1 基準値は日間平均値とする(湖沼、海域もこれに準ずる。)
- 2 農業用利水点については、水素イオン濃度6.0以上7.5以下、溶存酸素量5mg/L以上とする。

(注)1 自然環境保全: 自然探勝等の環境保全

- 2 水道1級: ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
水道2級: 沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの
水道3級: 前処理を伴う高度の浄水操作を行うもの
- 3 水産1級: ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用
水産2級: サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産3級の水産生物用
水産3級: コイ、フナ等β-中腐水性水域の水産生物用
- 4 工業用水1級: 沈殿等による通常の浄水操作を行うもの
工業用水2級: 薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの
工業用水3級: 特殊の浄水操作を行うもの
- 5 環境保全: 国民の日常生活(沿岸の遊歩等を含む。)において不快感を生じない限度

総合評価

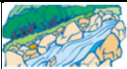



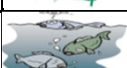

当該河川は環境基準の類型指定はありませんが、参考としてA類型の基準に当てはまります。当該河川の水質は、魚などの生息・農業用水としての利用について問題ありません。

河川調査分析結果の評価

調査位置 ③月の輪川 狐塚橋

調査日時 令和5年5月10日 11:58 天候 晴

分析の結果は、下表の着色部 に相当します。

類型	利用目的の適応性		河川環境基準値					参考
			水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD)	浮遊物質量 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌数	化学的酸素要求量 (COD)
分析結果			7.3	0.5	18	9.6	81	4.4
AA	水道1級、自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	1mg/L 以下	25 mg/L 以下	7.5 mg/L 以上	20CFU/ 100mL以下	基準値 設定なし
A	水道2級、水産1級、水浴及びB以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	2mg/L 以下	25 mg/L 以下	7.5 mg/L 以上	300CFU/ 100mL以下	
B	水道3級、水産2級及びC以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	3mg/L 以下	25 mg/L 以下	5 mg/L 以上	1,000CFU/ 100mL以下	
C	水産3級、工業用水1級及びD以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	5mg/L 以下	50 mg/L 以下	5 mg/L 以上	基準なし	
D	工業用水2級、農業用水及びEの欄に掲げるもの		6.0以上 8.5以下	8mg/L 以下	100 mg/L 以下	2 mg/L 以上		
E	工業用水3級、環境保全		6.0以上 8.5以下	10 mg/L 以下	ごみ等の浮遊が認められないこと	2 mg/L 以上		
基準外								

備考 (当該河川は環境基準の類型指定はありませんが、参考にあてはめました。)

- 1 基準値は日間平均値とする(湖沼、海域もこれに準ずる。)
- 2 農業用利水点については、水素イオン濃度6.0以上7.5以下、溶存酸素量5mg/L以上とする。

(注)1 自然環境保全: 自然探勝等の環境保全

- 2 水道1級: ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
水道2級: 沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの
水道3級: 前処理を伴う高度の浄水操作を行うもの
- 3 水産1級: ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用
水産2級: サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産3級の水産生物用
水産3級: コイ、フナ等β-中腐水性水域の水産生物用
- 4 工業用水1級: 沈殿等による通常の浄水操作を行うもの
工業用水2級: 薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの
工業用水3級: 特殊の浄水操作を行うもの
- 5 環境保全: 国民の日常生活(沿岸の遊歩等を含む。)において不快感を生じない限度

総合評価







当該河川は環境基準の類型指定はありませんが、参考としてA類型の基準に当てはまります。
当該河川の水質は、魚などの生息・農業用水としての利用について問題ありません。

河川調査分析結果の評価

調査位置 ④化粧川 化粧橋

調査日時 令和5年5月10日 11:48 天候 晴

分析の結果は、下表の着色部 に相当します。

類型	利用目的の適応性		河川環境基準値					参考
			水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD)	浮遊物質量 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌数	化学的酸素要求量 (COD)
分析結果			7.5	0.5	4	9.9	30	2.5
AA	水道1級、自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	1mg/L 以下	25 mg/L 以下	7.5 mg/L 以上	20CFU/ 100mL以下	基準値 設定なし
A	水道2級、水産1級、水浴及びB以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	2mg/L 以下	25 mg/L 以下	7.5 mg/L 以上	300CFU/ 100mL以下	
B	水道3級、水産2級及びC以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	3mg/L 以下	25 mg/L 以下	5 mg/L 以上	1,000CFU/ 100mL以下	
C	水産3級、工業用水1級及びD以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	5mg/L 以下	50 mg/L 以下	5 mg/L 以上	基準なし	
D	工業用水2級、農業用水及びEの欄に掲げるもの		6.0以上 8.5以下	8mg/L 以下	100 mg/L 以下	2 mg/L 以上		
E	工業用水3級、環境保全		6.0以上 8.5以下	10 mg/L 以下	ごみ等の浮遊が認められないこと	2 mg/L 以上		
基準外								

備考 (当該河川は環境基準の類型指定はありませんが、参考にあてはめました。)

- 1 基準値は日間平均値とする(湖沼、海域もこれに準ずる。)
- 2 農業用利水点については、水素イオン濃度6.0以上7.5以下、溶存酸素量5mg/L以上とする。

(注)1 自然環境保全: 自然探勝等の環境保全

- 2 水道1級: ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
水道2級: 沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの
水道3級: 前処理を伴う高度の浄水操作を行うもの
- 3 水産1級: ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用
水産2級: サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産3級の水産生物用
水産3級: コイ、フナ等β-中腐水性水域の水産生物用
- 4 工業用水1級: 沈殿等による通常の浄水操作を行うもの
工業用水2級: 薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの
工業用水3級: 特殊の浄水操作を行うもの
- 5 環境保全: 国民の日常生活(沿岸の遊歩等を含む。)において不快感を生じない限度

総合評価

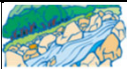





当該河川は環境基準の類型指定はありませんが、参考としてA類型の基準に当てはまります。当該河川の水質は、魚などの生息・農業用水としての利用について問題ありません。

河川調査分析結果の評価

調査位置 ⑤本谷川 港新橋

調査日時 令和5年5月10日 11:35 天候 晴

分析の結果は、下表の着色部 に相当します。

類型	利用目的の適応性		河川環境基準値					参考
			水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD)	浮遊物質量 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌数	化学的酸素要求量 (COD)
分析結果			7.4	0.7	6	9.8	38	2.5
AA	水道1級、自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	1mg/L 以下	25 mg/L 以下	7.5 mg/L 以上	20CFU/ 100mL以下	基準値 設定なし
A	水道2級、水産1級、水浴及びB以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	2mg/L 以下	25 mg/L 以下	7.5 mg/L 以上	300CFU/ 100mL以下	
B	水道3級、水産2級及びC以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	3mg/L 以下	25 mg/L 以下	5 mg/L 以上	1,000CFU/ 100mL以下	
C	水産3級、工業用水1級及びD以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	5mg/L 以下	50 mg/L 以下	5 mg/L 以上	基準なし	
D	工業用水2級、農業用水及びEの欄に掲げるもの		6.0以上 8.5以下	8mg/L 以下	100 mg/L 以下	2 mg/L 以上		
E	工業用水3級、環境保全		6.0以上 8.5以下	10 mg/L 以下	ごみ等の浮遊が認められないこと	2 mg/L 以上		
基準外								

備考 (当該河川は環境基準の類型指定はありませんが、参考にあてはめました。)

- 1 基準値は日間平均値とする(湖沼、海域もこれに準ずる。)
- 2 農業用利水点については、水素イオン濃度6.0以上7.5以下、溶存酸素量5mg/L以上とする。

(注)1 自然環境保全: 自然探勝等の環境保全

- 2 水道1級: ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
水道2級: 沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの
水道3級: 前処理を伴う高度の浄水操作を行うもの
- 3 水産1級: ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用
水産2級: サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産3級の水産生物用
水産3級: コイ、フナ等β-中腐水性水域の水産生物用
- 4 工業用水1級: 沈殿等による通常の浄水操作を行うもの
工業用水2級: 薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの
工業用水3級: 特殊の浄水操作を行うもの
- 5 環境保全: 国民の日常生活(沿岸の遊歩等を含む。)において不快感を生じない限度

総合評価

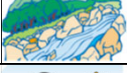



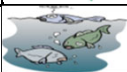

当該河川は環境基準の類型指定はありませんが、参考としてA類型の基準に当てはまります。
当該河川の水質は、魚などの生息・農業用水としての利用について問題ありません。

河川調査分析結果の評価

調査位置 ⑥八橋川 町川橋

調査日時 令和5年5月10日 11:34 天候 晴

分析の結果は、下表の着色部 7.4 に相当します。

類型	利用目的の適応性		河川環境基準値					参考
			水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD)	浮遊物質量 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌数	化学的酸素要求量 (COD)
分析結果			7.4	<0.5	4	10	870	1.9
AA	水道1級、自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	1mg/L 以下	25 mg/L 以下	7.5 mg/L 以上	20CFU/ 100mL以下	基準値 設定なし
A	水道2級、水産1級、水浴及びB以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	2mg/L 以下	25 mg/L 以下	7.5 mg/L 以上	300CFU/ 100mL以下	
B	水道3級、水産2級及びC以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	3mg/L 以下	25 mg/L 以下	5 mg/L 以上	1,000CFU/ 100mL以下	
C	水産3級、工業用水1級及びD以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	5mg/L 以下	50 mg/L 以下	5 mg/L 以上	基準なし	
D	工業用水2級、農業用水及びE以下の欄に掲げるもの		6.0以上 8.5以下	8mg/L 以下	100 mg/L 以下	2 mg/L 以上		
E	工業用水3級、環境保全		6.0以上 8.5以下	10 mg/L 以下	ごみ等の浮遊が認められないこと	2 mg/L 以上		
基準外								

備考 (当該河川は環境基準の類型指定はありませんが、参考にあてはめました。)

- 1 基準値は日間平均値とする(湖沼、海域もこれに準ずる。)
- 2 農業用利水点については、水素イオン濃度6.0以上7.5以下、溶存酸素量5mg/L以上とする。

(注)1 自然環境保全: 自然探勝等の環境保全

- 2 水道1級: ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
水道2級: 沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの
水道3級: 前処理を伴う高度の浄水操作を行うもの
- 3 水産1級: ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用
水産2級: サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産3級の水産生物用
水産3級: コイ、フナ等β-中腐水性水域の水産生物用
- 4 工業用水1級: 沈殿等による通常の浄水操作を行うもの
工業用水2級: 薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの
工業用水3級: 特殊の浄水操作を行うもの
- 5 環境保全: 国民の日常生活(沿岸の遊歩等を含む。)において不快感を生じない限度

総合評価

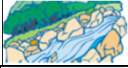





当該河川は環境基準の類型指定はありませんが、参考としてB類型の基準に当てはまります。当該河川の水質は、魚などの生息・農業用水としての利用について問題ありません。

河川調査分析結果の評価

調査位置 ⑦瀬戸川 ■■■ 宅前

調査日時 令和5年5月10日 11:18 天候 晴

分析の結果は、下表の着色部 に相当します。

類型	利用目的の適応性	河川環境基準値	河川環境基準値					参考
			水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD)	浮遊物質量 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌数	化学的酸素要求量 (COD)
分析結果			7.1	<0.5	2	9.5	54	1.5
AA	水道1級、自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	1mg/L 以下	25 mg/L 以下	7.5 mg/L 以上	20CFU/ 100mL以下	基準値 設定なし
A	水道2級、水産1級、水浴及びB以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	2mg/L 以下	25 mg/L 以下	7.5 mg/L 以上	300CFU/ 100mL以下	
B	水道3級、水産2級及びC以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	3mg/L 以下	25 mg/L 以下	5 mg/L 以上	1,000CFU/ 100mL以下	
C	水産3級、工業用水1級及びD以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	5mg/L 以下	50 mg/L 以下	5 mg/L 以上	基準なし	
D	工業用水2級、農業用水及びEの欄に掲げるもの		6.0以上 8.5以下	8mg/L 以下	100 mg/L 以下	2 mg/L 以上		
E	工業用水3級、環境保全		6.0以上 8.5以下	10 mg/L 以下	ごみ等の浮遊が認められないこと	2 mg/L 以上		
基準外								

備考 (当該河川は環境基準の類型指定はありませんが、参考にあてはめました。)

- 1 基準値は日間平均値とする(湖沼、海域もこれに準ずる。)
- 2 農業用利水点については、水素イオン濃度6.0以上7.5以下、溶存酸素量5mg/L以上とする。

(注)1 自然環境保全: 自然探勝等の環境保全

- 2 水道1級: ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
水道2級: 沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの
水道3級: 前処理を伴う高度の浄水操作を行うもの
- 3 水産1級: ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用
水産2級: サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産3級の水産生物用
水産3級: コイ、フナ等β-中腐水性水域の水産生物用
- 4 工業用水1級: 沈殿等による通常の浄水操作を行うもの
工業用水2級: 薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの
工業用水3級: 特殊の浄水操作を行うもの
- 5 環境保全: 国民の日常生活(沿岸の遊歩等を含む。)において不快感を生じない限度

総合評価

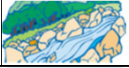





当該河川は環境基準の類型指定はありませんが、参考としてA類型の基準に当てはまります。
当該河川の水質は、魚などの生息・農業用水としての利用について問題ありません。

河川調査分析結果の評価

調査位置 ⑧茅町川 こい橋

調査日時 令和5年5月10日 11:05 天候 晴

分析の結果は、下表の着色部 に相当します。

類型	利用目的の適応性	河川環境基準値	河川環境基準値					参考
			水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD)	浮遊物質量 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌数	化学的酸素要求量 (COD)
分析結果			7.4	<0.5	5	10	60	2.0
AA	水道1級、自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	1mg/L 以下	25 mg/L 以下	7.5 mg/L 以上	20CFU/ 100mL以下	基準値 設定なし
A	水道2級、水産1級、水浴及びB以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	2mg/L 以下	25 mg/L 以下	7.5 mg/L 以上	300CFU/ 100mL以下	
B	水道3級、水産2級及びC以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	3mg/L 以下	25 mg/L 以下	5 mg/L 以上	1,000CFU/ 100mL以下	
C	水産3級、工業用水1級及びD以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	5mg/L 以下	50 mg/L 以下	5 mg/L 以上	基準なし	
D	工業用水2級、農業用水及びEの欄に掲げるもの		6.0以上 8.5以下	8mg/L 以下	100 mg/L 以下	2 mg/L 以上		
E	工業用水3級、環境保全		6.0以上 8.5以下	10 mg/L 以下	ごみ等の浮遊が認められないこと	2 mg/L 以上		
基準外								

備考 (当該河川は環境基準の類型指定はありませんが、参考にあてはめました。)

1 基準値は日間平均値とする(湖沼、海域もこれに準ずる。)

2 農業用利水点については、水素イオン濃度6.0以上7.5以下、溶存酸素量5mg/L以上とする。

(注)1 自然環境保全: 自然探勝等の環境保全

2 水道1級: ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの

水道2級: 沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの

水道3級: 前処理を伴う高度の浄水操作を行うもの

3 水産1級: ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用

水産2級: サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産3級の水産生物用

水産3級: コイ、フナ等β-中腐水性水域の水産生物用

4 工業用水1級: 沈殿等による通常の浄水操作を行うもの

工業用水2級: 薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの

工業用水3級: 特殊の浄水操作を行うもの

5 環境保全: 国民の日常生活(沿岸の遊歩等を含む。)において不快感を生じない限度

総合評価

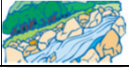





当該河川は環境基準の類型指定はありませんが、参考としてA類型の基準に当てはまります。当該河川の水質は、魚などの生息・農業用水としての利用について問題ありません。

河川調査分析結果の評価

調査位置 ⑨元旧川 元旧橋

調査日時 令和5年5月10日 10:56 天候 晴

分析の結果は、下表の着色部 に相当します。

類型	利用目的の適応性	河川環境基準値	河川環境基準値					参考
			水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD)	浮遊物質量 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌数	化学的酸素要求量 (COD)
分析結果			7.5	<0.5	6	10	740	2.5
AA	水道1級、自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	1mg/L 以下	25 mg/L 以下	7.5 mg/L 以上	20CFU/ 100mL以下	基準値 設定なし
A	水道2級、水産1級、水浴及びB以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	2mg/L 以下	25 mg/L 以下	7.5 mg/L 以上	300CFU/ 100mL以下	
B	水道3級、水産2級及びC以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	3mg/L 以下	25 mg/L 以下	5 mg/L 以上	1,000CFU/ 100mL以下	
C	水産3級、工業用水1級及びD以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	5mg/L 以下	50 mg/L 以下	5 mg/L 以上	基準なし	
D	工業用水2級、農業用水及びEの欄に掲げるもの		6.0以上 8.5以下	8mg/L 以下	100 mg/L 以下	2 mg/L 以上		
E	工業用水3級、環境保全		6.0以上 8.5以下	10 mg/L 以下	ごみ等の浮遊が認められないこと	2 mg/L 以上		
基準外								

備考 (当該河川は環境基準の類型指定はありませんが、参考にあてはめました。)

- 1 基準値は日間平均値とする(湖沼、海域もこれに準ずる。)
- 2 農業用利水点については、水素イオン濃度6.0以上7.5以下、溶存酸素量5mg/L以上とする。

(注)1 自然環境保全: 自然探勝等の環境保全

- 2 水道1級: ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
水道2級: 沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの
水道3級: 前処理を伴う高度の浄水操作を行うもの
- 3 水産1級: ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用
水産2級: サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産3級の水産生物用
水産3級: コイ、フナ等β-中腐水性水域の水産生物用
- 4 工業用水1級: 沈殿等による通常の浄水操作を行うもの
工業用水2級: 薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの
工業用水3級: 特殊の浄水操作を行うもの
- 5 環境保全: 国民の日常生活(沿岸の遊歩等を含む。)において不快感を生じない限度

総合評価







当該河川は環境基準の類型指定はありませんが、参考としてB類型の基準に当てはまります。
当該河川の水質は、魚などの生息・農業用水としての利用について問題ありません。

河川調査分析結果の評価

調査位置 ⑩洗川 洗川橋

調査日時 令和5年5月10日 10:43 天候 晴

分析の結果は、下表の着色部 に相当します。

類型	利用目的の適応性		河川環境基準値					参考
			水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD)	浮遊物質量 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌数	化学的酸素要求量 (COD)
分析結果			7.3	0.5	2	10	140	2.2
AA	水道1級、自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	1mg/L 以下	25 mg/L 以下	7.5 mg/L 以上	20CFU/ 100mL以下	基準値 設定なし
A	水道2級、水産1級、水浴及びB以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	2mg/L 以下	25 mg/L 以下	7.5 mg/L 以上	300CFU/ 100mL以下	
B	水道3級、水産2級及びC以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	3mg/L 以下	25 mg/L 以下	5 mg/L 以上	1,000CFU/ 100mL以下	
C	水産3級、工業用水1級及びD以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	5mg/L 以下	50 mg/L 以下	5 mg/L 以上	基準なし	
D	工業用水2級、農業用水及びEの欄に掲げるもの		6.0以上 8.5以下	8mg/L 以下	100 mg/L 以下	2 mg/L 以上		
E	工業用水3級、環境保全		6.0以上 8.5以下	10 mg/L 以下	ごみ等の浮遊が認められないこと	2 mg/L 以上		
基準外								

備考 (当該河川は環境基準の類型指定はありませんが、参考にあてはめました。)

- 1 基準値は日間平均値とする(湖沼、海域もこれに準ずる。)
- 2 農業用利水点については、水素イオン濃度6.0以上7.5以下、溶存酸素量5mg/L以上とする。

(注)1 自然環境保全: 自然探勝等の環境保全

- 2 水道1級: ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
水道2級: 沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの
水道3級: 前処理を伴う高度の浄水操作を行うもの
- 3 水産1級: ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用
水産2級: サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産3級の水産生物用
水産3級: コイ、フナ等β-中腐水性水域の水産生物用
- 4 工業用水1級: 沈殿等による通常の浄水操作を行うもの
工業用水2級: 薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの
工業用水3級: 特殊の浄水操作を行うもの
- 5 環境保全: 国民の日常生活(沿岸の遊歩等を含む。)において不快感を生じない限度

総合評価





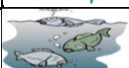

当該河川は環境基準の類型指定はありませんが、参考としてA類型の基準に当てはまります。
当該河川の水質は、魚などの生息・農業用水としての利用について問題ありません。

河川調査分析結果の評価

調査位置 ⑪前川 大山乳業横

調査日時 令和5年5月10日 9:53 天候 晴

分析の結果は、下表の着色部 に相当します。

類型	利用目的の適応性		河川環境基準値					参考
			水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD)	浮遊物質量 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌数	化学的酸素要求量 (COD)
分析結果			7.3	<0.5	4	10	150	2.1
AA	水道1級、自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	1mg/L 以下	25 mg/L 以下	7.5 mg/L 以上	20CFU/ 100mL以下	基準値 設定なし
A	水道2級、水産1級、水浴及びB以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	2mg/L 以下	25 mg/L 以下	7.5 mg/L 以上	300CFU/ 100mL以下	
B	水道3級、水産2級及びC以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	3mg/L 以下	25 mg/L 以下	5 mg/L 以上	1,000CFU/ 100mL以下	
C	水産3級、工業用水1級及びD以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	5mg/L 以下	50 mg/L 以下	5 mg/L 以上	基準なし	
D	工業用水2級、農業用水及びEの欄に掲げるもの		6.0以上 8.5以下	8mg/L 以下	100 mg/L 以下	2 mg/L 以上		
E	工業用水3級、環境保全		6.0以上 8.5以下	10 mg/L 以下	ごみ等の浮遊が認められないこと	2 mg/L 以上		
基準外								

備考 (当該河川は環境基準の類型指定はありませんが、参考にあてはめました。)

1 基準値は日間平均値とする(湖沼、海域もこれに準ずる。)

2 農業用利水点については、水素イオン濃度6.0以上7.5以下、溶存酸素量5mg/L以上とする。

(注)1 自然環境保全: 自然探勝等の環境保全

2 水道1級: ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの

水道2級: 沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの

水道3級: 前処理を伴う高度の浄水操作を行うもの

3 水産1級: ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用

水産2級: サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産3級の水産生物用

水産3級: コイ、フナ等β-中腐水性水域の水産生物用

4 工業用水1級: 沈殿等による通常の浄水操作を行うもの

工業用水2級: 薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの

工業用水3級: 特殊の浄水操作を行うもの

5 環境保全: 国民の日常生活(沿岸の遊歩等を含む。)において不快感を生じない限度

総合評価







当該河川は環境基準の類型指定はありませんが、参考としてA類型の基準に当てはまります。当該河川の水質は、魚などの生息・農業用水としての利用について問題ありません。

河川調査分析結果の評価

調査位置 ⑫上条川 ■■■ 宅前

調査日時 令和5年5月10日 10:00 天候 晴

分析の結果は、下表の着色部 に相当します。

類型	利用目的の適応性		河川環境基準値					参考
			水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD)	浮遊物質量 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌数	化学的酸素要求量 (COD)
分析結果			9.0	8.4	4	8.7	2,000	10
AA	水道1級、自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	1mg/L 以下	25 mg/L 以下	7.5 mg/L 以上	20CFU/ 100mL以下	基準値 設定なし
A	水道2級、水産1級、水浴及びB以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	2mg/L 以下	25 mg/L 以下	7.5 mg/L 以上	300CFU/ 100mL以下	
B	水道3級、水産2級及びC以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	3mg/L 以下	25 mg/L 以下	5 mg/L 以上	1,000CFU/ 100mL以下	
C	水産3級、工業用水1級及びD以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	5mg/L 以下	50 mg/L 以下	5 mg/L 以上	基準なし	
D	工業用水2級、農業用水及びE以下の欄に掲げるもの		6.0以上 8.5以下	8mg/L 以下	100 mg/L 以下	2 mg/L 以上		
E	工業用水3級、環境保全		6.0以上 8.5以下	10 mg/L 以下	ごみ等の浮遊が認められないこと	2 mg/L 以上		
基準外								

備考 (当該河川は環境基準の類型指定はありませんが、参考にあてはめました。)

- 1 基準値は日間平均値とする(湖沼、海域もこれに準ずる。)
- 2 農業用利水点については、水素イオン濃度6.0以上7.5以下、溶存酸素量5mg/L以上とする。

(注)1 自然環境保全: 自然探勝等の環境保全

- 2 水道1級: ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
水道2級: 沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの
水道3級: 前処理を伴う高度の浄水操作を行うもの
- 3 水産1級: ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用
水産2級: サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産3級の水産生物用
水産3級: コイ、フナ等β-中腐水性水域の水産生物用
- 4 工業用水1級: 沈殿等による通常の浄水操作を行うもの
工業用水2級: 薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの
工業用水3級: 特殊の浄水操作を行うもの
- 5 環境保全: 国民の日常生活(沿岸の遊歩等を含む。)において不快感を生じない限度

総合評価

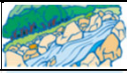





当該河川は環境基準の類型指定はありませんが、pHが類型の基準値を超過しています。pHが高い要因は不明ですが、継続して高い場合は発生源を特定する必要があると思われます。

河川調査分析結果の評価

調査位置 ⑬馬込川 馬込橋

調査日時 令和5年5月10日 10:35 天候 晴

分析の結果は、下表の着色部 に相当します。

類型	利用目的の適応性		河川環境基準値					参考
			水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD)	浮遊物質量 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌数	化学的酸素要求量 (COD)
分析結果			7.2	0.5	2	10	70	1.6
AA	水道1級、自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	1mg/L 以下	25 mg/L 以下	7.5 mg/L 以上	20CFU/ 100mL以下	基準値 設定なし
A	水道2級、水産1級、水浴及びB以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	2mg/L 以下	25 mg/L 以下	7.5 mg/L 以上	300CFU/ 100mL以下	
B	水道3級、水産2級及びC以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	3mg/L 以下	25 mg/L 以下	5 mg/L 以上	1,000CFU/ 100mL以下	
C	水産3級、工業用水1級及びD以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	5mg/L 以下	50 mg/L 以下	5 mg/L 以上	基準なし	
D	工業用水2級、農業用水及びEの欄に掲げるもの		6.0以上 8.5以下	8mg/L 以下	100 mg/L 以下	2 mg/L 以上		
E	工業用水3級、環境保全		6.0以上 8.5以下	10 mg/L 以下	ごみ等の浮遊が認められないこと	2 mg/L 以上		
基準外								

備考 (当該河川は環境基準の類型指定はありませんが、参考にあてはめました。)

- 1 基準値は日間平均値とする(湖沼、海域もこれに準ずる。)
- 2 農業用利水点については、水素イオン濃度6.0以上7.5以下、溶存酸素量5mg/L以上とする。

(注)1 自然環境保全: 自然探勝等の環境保全

- 2 水道1級: ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
水道2級: 沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの
水道3級: 前処理を伴う高度の浄水操作を行うもの
- 3 水産1級: ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用
水産2級: サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産3級の水産生物用
水産3級: コイ、フナ等β-中腐水性水域の水産生物用
- 4 工業用水1級: 沈殿等による通常の浄水操作を行うもの
工業用水2級: 薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの
工業用水3級: 特殊の浄水操作を行うもの
- 5 環境保全: 国民の日常生活(沿岸の遊歩等を含む。)において不快感を生じない限度

総合評価







当該河川は環境基準の類型指定はありませんが、参考としてA類型の基準に当てはまります。
当該河川の水質は、魚などの生息・農業用水としての利用について問題ありません。

河川調査分析結果の評価

調査位置 ⑭御幸川 御幸橋

調査日時 令和5年5月10日 10:25 天候 晴

分析の結果は、下表の着色部 に相当します。

類型	利用目的の適応性		河川環境基準値					参考
			水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD)	浮遊物質量 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌数	化学的酸素要求量 (COD)
分析結果			7.5	<0.5	4	10	72	2.1
AA	水道1級、自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	1mg/L 以下	25 mg/L 以下	7.5 mg/L 以上	20CFU/ 100mL以下	基準値 設定なし
A	水道2級、水産1級、水浴及びB以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	2mg/L 以下	25 mg/L 以下	7.5 mg/L 以上	300CFU/ 100mL以下	
B	水道3級、水産2級及びC以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	3mg/L 以下	25 mg/L 以下	5 mg/L 以上	1,000CFU/ 100mL以下	
C	水産3級、工業用水1級及びD以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	5mg/L 以下	50 mg/L 以下	5 mg/L 以上	基準なし	
D	工業用水2級、農業用水及びEの欄に掲げるもの		6.0以上 8.5以下	8mg/L 以下	100 mg/L 以下	2 mg/L 以上		
E	工業用水3級、環境保全		6.0以上 8.5以下	10 mg/L 以下	ごみ等の浮遊が認められないこと	2 mg/L 以上		
基準外								

備考 (当該河川は環境基準の類型指定はありませんが、参考にあてはめました。)

- 1 基準値は日間平均値とする(湖沼、海域もこれに準ずる。)
- 2 農業用利水点については、水素イオン濃度6.0以上7.5以下、溶存酸素量5mg/L以上とする。

(注)1 自然環境保全: 自然探勝等の環境保全

- 2 水道1級: ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
水道2級: 沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの
水道3級: 前処理を伴う高度の浄水操作を行うもの
- 3 水産1級: ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用
水産2級: サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産3級の水産生物用
水産3級: コイ、フナ等β-中腐水性水域の水産生物用
- 4 工業用水1級: 沈殿等による通常の浄水操作を行うもの
工業用水2級: 薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの
工業用水3級: 特殊の浄水操作を行うもの
- 5 環境保全: 国民の日常生活(沿岸の遊歩等を含む。)において不快感を生じない限度

総合評価

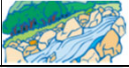





当該河川は環境基準の類型指定はありませんが、参考としてA類型の基準に当てはまります。当該河川の水質は、魚などの生息・農業用水としての利用について問題ありません。

河川調査分析結果の評価

調査位置 ⑮加勢蛇川 宮橋

調査日時 令和5年5月10日 9:40 天候 晴

分析の結果は、下表の着色部 に相当します。

類型	利用目的の適応性	河川環境基準値	河川環境基準値					参考
			水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD)	浮遊物質量 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌数	化学的酸素要求量 (COD)
分析結果			7.3	<0.5	2	10	22	1.1
AA	水道1級、自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	1mg/L 以下	25 mg/L 以下	7.5 mg/L 以上	20CFU/ 100mL以下	基準値 設定なし
A	水道2級、水産1級、水浴及びB以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	2mg/L 以下	25 mg/L 以下	7.5 mg/L 以上	300CFU/ 100mL以下	
B	水道3級、水産2級及びC以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	3mg/L 以下	25 mg/L 以下	5 mg/L 以上	1,000CFU/ 100mL以下	
C	水産3級、工業用水1級及びD以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	5mg/L 以下	50 mg/L 以下	5 mg/L 以上	基準なし	
D	工業用水2級、農業用水及びEの欄に掲げるもの		6.0以上 8.5以下	8mg/L 以下	100 mg/L 以下	2 mg/L 以上		
E	工業用水3級、環境保全		6.0以上 8.5以下	10 mg/L 以下	ごみ等の浮遊が認められないこと	2 mg/L 以上		
基準外								

備考 (当該河川は環境基準の類型指定はありませんが、参考にあてはめました。)

- 1 基準値は日間平均値とする(湖沼、海域もこれに準ずる。)
- 2 農業用利水点については、水素イオン濃度6.0以上7.5以下、溶存酸素量5mg/L以上とする。

(注)1 自然環境保全: 自然探勝等の環境保全

- 2 水道1級: ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
水道2級: 沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの
水道3級: 前処理を伴う高度の浄水操作を行うもの
- 3 水産1級: ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用
水産2級: サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産3級の水産生物用
水産3級: コイ、フナ等β-中腐水性水域の水産生物用
- 4 工業用水1級: 沈殿等による通常の浄水操作を行うもの
工業用水2級: 薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの
工業用水3級: 特殊の浄水操作を行うもの
- 5 環境保全: 国民の日常生活(沿岸の遊歩等を含む。)において不快感を生じない限度

総合評価







当該河川は環境基準の類型指定はありませんが、参考としてA類型の基準に当てはまります。当該河川の水質は、魚などの生息・農業用水としての利用について問題ありません。

河川調査分析結果の評価

調査位置 ⑩加勢蛇川 加勢蛇橋

調査日時 令和5年5月10日 10:15 天候 晴

分析の結果は、下表の着色部 に相当します。

類型	利用目的の適応性		河川環境基準値					参考
			水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD)	浮遊物質量 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌数	化学的酸素要求量 (COD)
分析結果			7.9	<0.5	2	10	15	1.1
AA	水道1級、自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	1mg/L 以下	25 mg/L 以下	7.5 mg/L 以上	20CFU/ 100mL以下	基準値 設定なし
A	水道2級、水産1級、水浴及びB以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	2mg/L 以下	25 mg/L 以下	7.5 mg/L 以上	300CFU/ 100mL以下	
B	水道3級、水産2級及びC以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	3mg/L 以下	25 mg/L 以下	5 mg/L 以上	1,000CFU/ 100mL以下	
C	水産3級、工業用水1級及びD以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	5mg/L 以下	50 mg/L 以下	5 mg/L 以上	基準なし	
D	工業用水2級、農業用水及びE以下の欄に掲げるもの		6.0以上 8.5以下	8mg/L 以下	100 mg/L 以下	2 mg/L 以上		
E	工業用水3級、環境保全		6.0以上 8.5以下	10 mg/L 以下	ごみ等の浮遊が認められないこと	2 mg/L 以上		
基準外								

備考 (当該河川は環境基準の類型指定はありませんが、参考にあてはめました。)

- 1 基準値は日間平均値とする(湖沼、海域もこれに準ずる。)
- 2 農業用利水点については、水素イオン濃度6.0以上7.5以下、溶存酸素量5mg/L以上とする。

(注)1 自然環境保全: 自然探勝等の環境保全

- 2 水道1級: ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
水道2級: 沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの
水道3級: 前処理を伴う高度の浄水操作を行うもの
- 3 水産1級: ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用
水産2級: サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産3級の水産生物用
水産3級: コイ、フナ等β-中腐水性水域の水産生物用
- 4 工業用水1級: 沈殿等による通常の浄水操作を行うもの
工業用水2級: 薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの
工業用水3級: 特殊の浄水操作を行うもの
- 5 環境保全: 国民の日常生活(沿岸の遊歩等を含む。)において不快感を生じない限度

総合評価







当該河川は環境基準の類型指定はありませんが、参考としてAA類型の基準に当てはまります。当該河川の水質は、魚などの生息・農業用水としての利用について問題ありません。

河川調査分析結果の評価

調査位置 ⑰ケド川 ■■■宅前

調査日時 令和5年5月10日 9:25 天候 晴

分析の結果は、下表の着色部 に相当します。

類型	利用目的の適応性	河川環境基準値	河川環境基準値					参考
			水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD)	浮遊物質量 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌数	化学的酸素要求量 (COD)
分析結果			6.8	<0.5	5	10	53	1.9
AA	水道1級、自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	1mg/L 以下	25 mg/L 以下	7.5 mg/L 以上	20CFU/ 100mL以下	基準値 設定なし
A	水道2級、水産1級、水浴及びB以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	2mg/L 以下	25 mg/L 以下	7.5 mg/L 以上	300CFU/ 100mL以下	
B	水道3級、水産2級及びC以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	3mg/L 以下	25 mg/L 以下	5 mg/L 以上	1,000CFU/ 100mL以下	
C	水産3級、工業用水1級及びD以下の欄に掲げるもの		6.5以上 8.5以下	5mg/L 以下	50 mg/L 以下	5 mg/L 以上	基準なし	
D	工業用水2級、農業用水及びEの欄に掲げるもの		6.0以上 8.5以下	8mg/L 以下	100 mg/L 以下	2 mg/L 以上		
E	工業用水3級、環境保全		6.0以上 8.5以下	10 mg/L 以下	ごみ等の浮遊が認められないこと	2 mg/L 以上		
基準外								

備考 (当該河川は環境基準の類型指定はありませんが、参考にあてはめました。)

- 1 基準値は日間平均値とする(湖沼、海域もこれに準ずる。)
- 2 農業用利水点については、水素イオン濃度6.0以上7.5以下、溶存酸素量5mg/L以上とする。

(注)1 自然環境保全: 自然探勝等の環境保全

- 2 水道1級: ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
水道2級: 沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの
水道3級: 前処理を伴う高度の浄水操作を行うもの
- 3 水産1級: ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用
水産2級: サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産3級の水産生物用
水産3級: コイ、フナ等β-中腐水性水域の水産生物用
- 4 工業用水1級: 沈殿等による通常の浄水操作を行うもの
工業用水2級: 薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの
工業用水3級: 特殊の浄水操作を行うもの
- 5 環境保全: 国民の日常生活(沿岸の遊歩等を含む。)において不快感を生じない限度

総合評価

当該河川は環境基準の類型指定はありませんが、参考としてA類型の基準に当てはまります。当該河川の水質は、魚などの生息・農業用水としての利用について問題ありません。